



その想い



第8号

発行人：谷泰智
29年6月7日発行

★ 奉音供養会（久乗おりんのコンサート）盛況に開かれました。



当日の本堂には総勢48名もの方々がお見えになりました。外は5色のキャンドルで彩られ、祈りと癒しの一夜となりました。

4月22日、富山県高岡市より谷中ご夫妻をお招きし、本堂にて久乗おりんとコントラバスの生演奏を奉納していただきました。護国寺縁故の諸霊位への鎮魂の手向けとして、またその場を共有する人々の癒しとして、おりんが奏でる優しく深い大悲の音色が本堂に響きました。

近年はお堂でのコンサートは珍しくなくなってきましたが、前々から私には「お堂は箱物ではない。」という思いがありました。しかし、今回演奏していただいた『久乗おりん』は御仏壇で使う仏具に音階をつけた楽器ですので、今回は奉音という形で企画致しました。是非次回も企画して参りたいと思います。



★ 献茶彼岸会のご報告

昨年比少し参加人数が少なかったですが、茶道の先生のご尽力の甲斐あって、今年も無事営むことができました。

お菓子は昨年と同じく、護国寺の総本山である聖護院に縁の深い西尾八ッ橋のチョコレート。加えて、家内の自家製『文旦の皮の砂糖漬け』をご用意しました。

昨年元気に参加して下さっていたにも関わらず、今年はもう鬼籍に入ってしまった方もいらっしゃる、改めて諸行無常を思い至りました。今この一瞬を大切に、喫茶来の意味が少しわかった気がしました。

★ 仏教青年会による『お花まつり』

5月8日県民文化ホールにて、釈徹宗さんをお招きしての『お花まつり』が開催され、私もお手伝いに参加させていただきました。

『お花まつり』とはお釈迦様の聖誕された場所が大変美しく花が咲き乱れる場所であったことから名付けられた、降誕会とも呼ばれる仏教行事です。

宗派の垣根を越えて、互いに学びあうことのできた有意義な一日でした。

お釈迦様（誕生仏）に甘茶を注ぎます。→ 法要が始まる時に空中に投じる散華。↓

